

- 問1 東北地方では、各県の気候や地形条件を活かして特定の農産物を重点的に生産する農業が盛んです。青森県のりんご、山形県のさくらんぼ、福島県の桃などの生産がその代表例ですが、このような農業の特色について述べた説明として正しいものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. すべての県が同じ種類の野菜を均等に生産することで、東北地方全体での市場価格の安定を図っている。 | 2. 冷害の影響を避けるために、東北全域の農地において米から麦類への転換が一斉に進められた。 | 3. 各県が特定の果樹を重点的に栽培することで、県全体の農産物栽培面積においても大きな割合を占めている。 | 4. 広大な平野部を利用し、果樹よりも稲作の面積割合をすべての県で一律に高める政策がとられている。 |
|--|--|--|---|
- 問2 東北地方の中央部を南北に貫く山脈の周辺には、地下の熱エネルギーを利用した発電所が複数立地しています。この地域で見られる山脈の名称と、行われている発電方式の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 奥羽山脈と水力発電 | 2. 奥羽山脈と地熱発電 | 3. 飛騨山脈と火力発電 | 4. 飛騨山脈と地熱発電 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問3 山形県の北西部に位置し、最上川の堆積作用によって形成された庄内平野は、日本有数の穀倉地帯として知られています。この地域において、自然環境を活かして盛んに行われている農業はどれですか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 1. 冷涼な気候を活かして夏に出荷する高原キャベツの栽培 | 2. 周囲の山々からの豊かな雪解け水を利用した大規模な稲作 | 3. 一年を通じて高温多湿な環境を必要とするサトウキビの栽培 | 4. 冬でも温暖な気候を活かしたビニールハウスでのみかんの栽培 |
|------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
- 問4 本州の最北端に位置する青森県と、北海道との間を隔てている海峡は、日本海と太平洋を結ぶ重要な水域となっています。この海峡の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 関門海峡 | 2. 宗谷海峡 | 3. 津軽海峡 | 4. 対馬海峡 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問5 東北地方の太平洋側に位置し、複雑な海岸線を持つリアス海岸がある岩手県の地理的・産業的特徴について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 対馬海流の影響を強く受けるため、冬でも雪が降らず温暖な気候である | 2. 最上川の下流に広がる庄内平野を中心に、全国有数の稲作地帯となっている | 3. 波が穏やかな入り江の環境を利用して、かきやわかめなどの養殖が盛んである | 4. 奥羽山脈の西側に位置し、季節風の影響で冬は世界的な豪雪地帯となる |
|-------------------------------------|---------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問6 海面養殖業による「わかめ類」の収穫量において、岩手県が全国の38.8%、宮城県が32.1%を占め、この2県だけで全国の約7割に達しているという統計データがあります。このように、三陸海岸沿岸でわかめ類の生産が非常に盛んである理由を説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 海岸付近に大規模な干拓地が形成されており、真水と海水が混ざり合う広大な浅瀬が人工的に作られているから。 | 2. 水深200mまでの浅くて平坦な大陸棚が広がっており、太陽光が届きやすいため海藻類の成長に好都合だから。 | 3. 寒流の親潮と暖流の黒潮がぶつかる潮目（潮境）に位置しており、プランクトンが豊富で魚の種類が非常に多いから。 | 4. 複雑に入り組んだ湾内は、周囲の地形によって外海からの波が遮られ非常に穏やかであり、養殖施設の設置に適しているから。 |
|--|--|--|--|
- 問7 東北地方のある県では、農業産出額の構成において「果実」が約28%という高い割合を占めています。このように、稲作のみに頼らず果樹栽培が地域の重要産業として発展した背景として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 冷涼な気候に適した作物を選択し、米の生産に偏りすぎない多角的な農業経営を推進してきたため。 | 2. 人口が密集する大都市圏に隣接しているため、鮮度が重要な果物の近郊農業に特化したため。 | 3. 干拓によって得られた広大な土地をすべて果樹園とし、世界的な輸出拠点として整備されたため。 | 4. 季節風の影響を抑えるために、平野部をすべてビニールハウスで覆い野菜中心の栽培に転換したため。 |
|--|---|---|---|
- 問8 東北地方の太平洋側における農業と気候の関係について述べた文として、最も適切なものはどれですか。なお、統計資料において米の作況指数が低くなる地域は、日本海側よりも太平洋側に集中する傾向があることを踏まえて答えなさい。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 日本海側から山を越えて吹き降りる乾燥した風が、太平洋側に異常な高温をもたらすため。 | 2. シベリア高気圧から吹き込む冷たい北西の風が、太平洋側に大規模な冠水被害をもたらすため。 | 3. オホーツク海高気圧から吹く冷たく湿った北東の風が、太平洋側に冷害をもたらすため。 | 4. 太平洋高気圧の発達が著しく、梅雨の時期に雨が全く降らない干ばつが続くため。 |
|--|--|---|--|
- 問9 北海道の知床半島は、世界自然遺産に登録されています。この地域の生態系に大きな影響を与えている、冬にオホーツク海から押し寄せる「流水」に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 流水の存在によって冬の観光客が途絶えるため、地域経済は夏場のサケ漁のみに完全に依存している。 | 2. 流水が海岸を激しく削ることで、三陸海岸のような複雑なリアス海岸が形成される要因となっている。 | 3. 流水が運んでくる植物プランクトンが、魚類や海獣、さらには陸上の生物までをつなぐ豊かな食物連鎖を支えている。 | 4. 流水が押し寄せることで海水の温度が上昇し、周辺海域で暖流系の魚を一年中漁獲することが可能になっている。 |
|---|---|--|--|
- 問10 東北地方の自然環境と産業の関係について述べた次の文のうち、山形県を流れる最上川の特徴と関連する産業の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 山形県から秋田県へと流れるこの河川は、河口付近に八郎潟を形成しており、そこでは大規模な畑作が行われている。 | 2. 岩手県から宮城県へと流れるこの河川は、下流に仙台平野を形成しており、そこでは施設園芸農業が盛んである。 | 3. 山形県内を流れるこの河川は、下流に広大な庄内平野を形成しており、そこでは稲作が盛んに行われている。 | 4. 福島県から宮城県へと流れるこの河川は、その流域にリアス海岸を形成しており、そこでは養殖業が盛んである。 |
|--|--|--|--|
- 問11 東北地方の三陸海岸沖は、世界有数の漁場として知られています。この海域が豊かな漁場となる理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. プレートの境界にあたる深い溝があるため、深海から冷たい水が湧き上がり常に海水が浄化されるため | 2. リアス海岸の複雑な入り江によって波が穏やかになり、一年を通じて大規模な養殖業が行えるため | 3. 寒流の親潮が運ぶ栄養分によってプランクトンが豊富になり、そこに寒流系と暖流系の両方の魚が集まるため | 4. 水深200mまでの浅い平坦な海底が広がっており、太陽の光が届きやすく魚の産卵に適しているため |
|---|---|--|---|
- 問12 東北地方の各県における農業統計に基づき、土地利用や生産状況について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、宮城県の総面積に対する耕地面積の割合は約17.2%、青森県は約15.5%です。 (2024年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。 | 2. 岩手県は、広大な土地を活かした畜産業が極めて盛んであり、県全体の農業産出額の7割以上を畜産が占めている。 | 3. 秋田県と山形県は東北を代表する米どころであり、この2県だけで東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。 | 4. 青森県は東北地方で最も総面積が大きいので、山地が多いにもかかわらず耕地面積の割合も東北6県で最大である。 |
|--|---|---|---|